

第2学年 道徳科(人権)学習指導案

1 主題 だれとでもなかよく

2 主題設定の理由（省略）

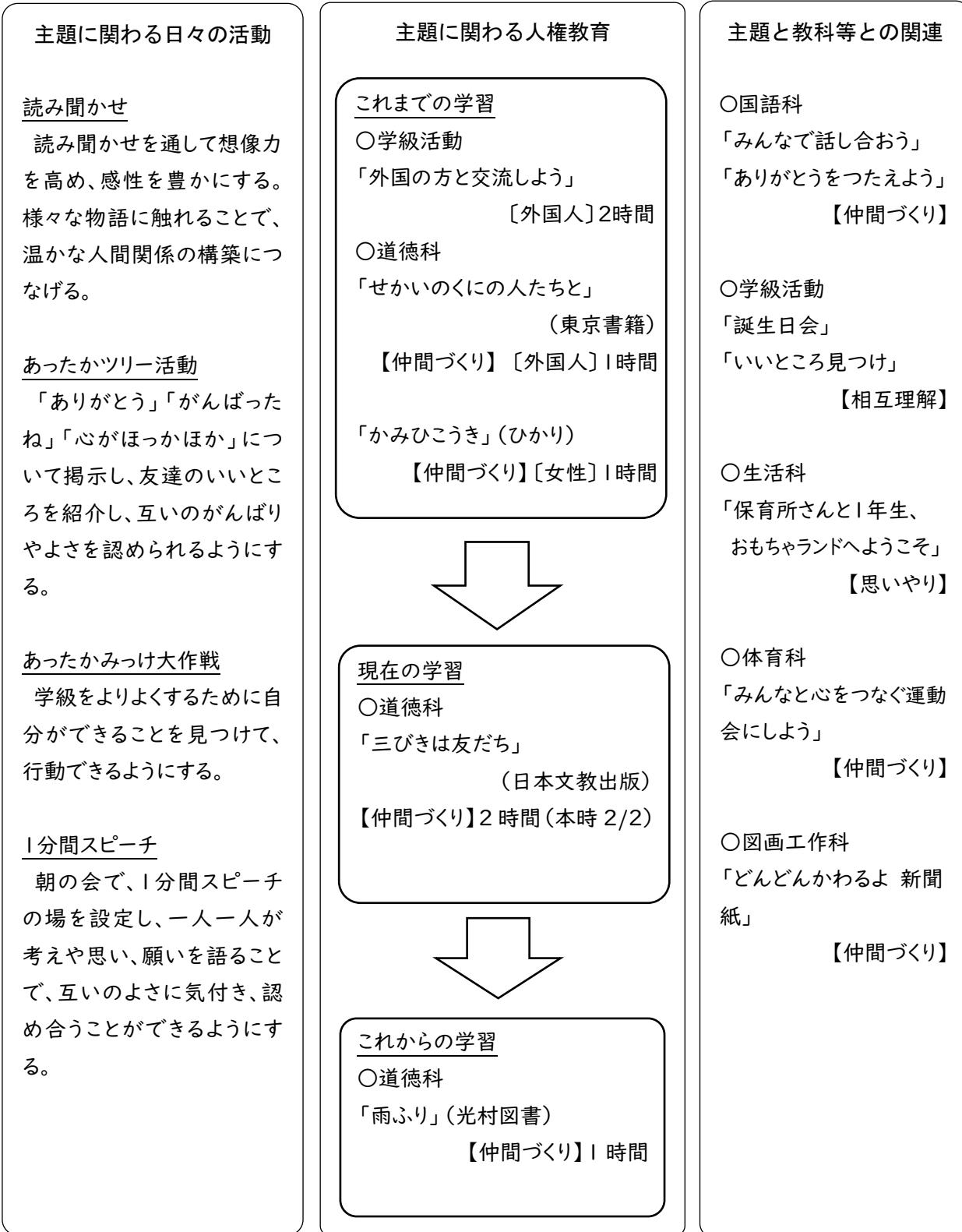
3 ねらい

相手の気持ちを考えて、みんなと仲よく生活していこうとする態度を育てる。

4 指導計画

【】普遍的な学習のテーマ

[]個別人権課題



5 本時の学習

- (1) 目標 ぴよんたの気持ちを考えることを通して、自分の好き嫌いにとらわれずに相手の気持ちを考えて接していくとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値 C-(11) 公正、公平、社会正義

- (2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 友達にされたらうれしいことやうれしくないことを書き出す。	<input type="radio"/> 自分の好き嫌いから連想する言葉をホワイトボードに書き、イメージをもたせる。
2 教材を読み、本時の学習課題を知る。	<input type="radio"/> 本時の学習の方向付けをする。(ペーパーサート)
<p>「ぴよんた」が気付いたことは、何だろう。</p>	
3 ぴよんたの気持ちを考える。 ・「友だちだよね」と言った時 ・「言わないからね、友だちだもの」と言った時 ・後ろすがたをじっと見つめている時 ・二人のところに走って行った時	<input type="radio"/> ぴよんたの気持ちを考えることで、公平に接することの大切さに気付かせる。 ② <input type="radio"/> 役割演技を通して、人によって態度を変えることが間違いであったことに気付き、どうすればよかったのかを考えることができる。
4 学習を振り返り、本時のまとめをする。	<input type="radio"/> これから的生活で自分にできることを考え、誰とでもなかよく公平に接していくとする意欲を高める。 ①

(4) 評価

- 自分の好き嫌いで判断することの間違いに気付き、相手の気持ちを考えて接していくとする意欲を高めることはできたか。 【価値的・態度的側面】①
- 友達の考えをよく聞き、自分が感じたことや考えたことを伝えることができたか。 【技能的側面】②